

戦争のない世界を 子どもたちに手渡そう



山形市平和コンサート「器楽・合唱の部」より=7月25日、山形市民会館

終戦記念日に街頭から訴え

終戦記念日の8月15日、山形市議団とともに、反戦平和の思いを込めて街頭演説に立ちました。



2010年8月22日
第102号

発行
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子

<連絡先>
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241(受付)
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

平和都市宣言事業に参加

7月、8月と山形市の平和都市宣言事業が開かれ、多くの市民の方々が実行委員として、出演者として、また、参加者として集まりました。

7月26日、村山総合支庁で、村山地域の課題について協議する地域議員協議会が開催され、私は、福祉施設などの災害対策について取りあげました。

岩波地域の急傾斜地対策を早急に

地域議員協議会で主張

7月27、29日に厚生労働環境常任委員会の県内視察があり、総合周産期母子医療センター（県立中央病院）、総合療育訓練センター（山市）をはじめ10カ所を訪問し、現状や課題について調査しました。

求める流れが大きく広がっており、軍縮の方向に進んでいる。紛争の平和的解決をうたった憲法9条は先駆的であり、その精神を大きく広げよう、「日本共産党は、戦前から反戦平和を貫き通してきた政党として、憲法9条を守る運動、核兵器廃絶の運動を、平和を願うみなさんとともに、さらに広げていく。子どもたちに戦争のない世界を手渡していく」と訴えました。

私は戦後生まれですが、父母からも含めて戦争体験を聞くことができた一人でもあり、世代間で継承していく責任もあると感じています。

閉会中委員会の日程

8月23日(月) 各常任委員会
24日(火) 各特別委員会

今年のはじめは、高温が続き着色が遅れていて、なかなかきびしい状況なのに、さらに豪雨被害は、心が痛みます。県内の地方議員は、どこでも住民の暮らしの守り手として奮闘しています。私が県議として活動している中でも、重要な情報源であり、ともに様々な運動に取り組む仲間でもあります。

市議会議員と連携し大雨被害対策

12日朝6時半ごろ、高橋が一郎市議から電話が入りました。「県道沿いのぶどう畑が豪雨で被害を受けた」とのこと。早速、現場確認をする。県道の路肩が一部崩れ、電柱の根元が露出しているところもあります。ぶどう畑の斜面も地面がえぐられていました。台風が迫っていることもあり、急いで対策を要請し、県はその日のうちに県道の応急措置と50mほどの区間に土のうを積むことを実施しました。

総合周産期母子医療センターなどを視察

厚生労働環境常任委員会

